



2025年度 世界とつながる学びPJ 事業報告書

<https://nakayoshigakuen.hp.peraichi.com/hojokin/>

世界とつながる学びプロジェクト概要

 **事業概要**：授業・探究・課外活動を国際教育に接続（教員負担の最小化）

 **モデル**：CoRe Loop（つくる→届ける→共創→還る）で学びの循環を設計
実施例：

- 岡山県立矢掛高校（ユネスコスクール）：不要制服アップサイクルで衣料支援
- 千葉県柏市 富勢東小学校：さつまいも栽培で難民食糧支援
- オイスカ浜松国際高校：SDGsカルタで平和教育活動

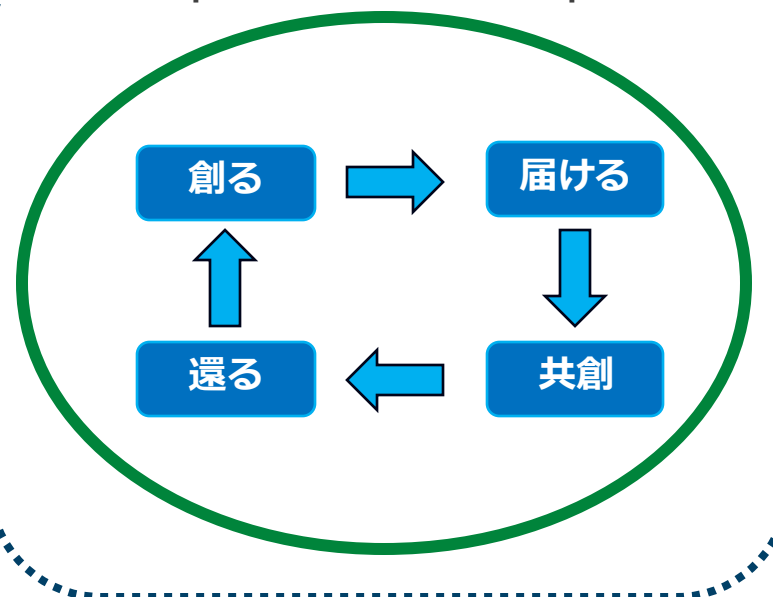
 **効果**：

- エージェンシー向上（当事者意識・主体性の育成）
- 地域資源の再編集（地域の魅力を国際的に再評価）
- 国際協働の実装（成果物の現地活用と関係構築）



本事業は経済産業省「探究・校務改革支援補助金」2025年度採択事業です

CoRe Loop（Co-create & Return Loop）モデル



全国での講演会
地域探究と国際接続



世界の現場とのライブ対話
パートナーズとテレビ電話

児童生徒が“地域の発信者”になるグローバル探究

本プロジェクトの特徴

- ・ 地域資源や日常学習を“教材化”し、海外の当事者と協働して共創プログラムを実施
- ・ 教材作成→現地実装→日本へフィードバック（里帰り）で学びが循環（CoRe Loop）
- ・ 先生と児童生徒が安全・低負担でグローバルを体感、どこでも実装可能
- ・ 教育×地域振興×国際協力のCSVを企業・自治体・大学・博物館図書館と推進

Phase 1

- ・ 講演会による情報収集
- ・ 世界の諸問題を理解し、課題意識を持つ。
- ・ 教職員と生徒が社会課題を共有。アイデアで解決を目指すきっかけを与える。



Phase 2

- ・ 生徒たちのアイデアをブレインストーミングによって引き出す。
- ・ 現地での実現可能性やブラッシュアップを現場担当者からレクチャー（ZOOM含）



Phase 3

- ・ 現地での教育実践授業によって当事者意識を育成（希望者は現地へ同行し活動現場実習も可能です。別途費用がかかります）



Phase 4

- ・ 活動を振り返り、研究発表
- ・ 実績をもとに「次のアクション」を考え行動する
- ・ 希望者にはオプションで 受験指導も



実装校（50校超）と実施体制

遊佐町立遊佐中学校
 木島平村立木島平中学校
 木島平村立木島平小学校
 茨城県立守谷高等学校
 佐倉市立南部中学校
 佐倉市立間野台小学校
 佐倉市立臼井中学校
 佐倉市立王子台小学校
 柏市立富勢東小学校
 柏市立名戸ヶ谷小学校
 柏市立柏の葉中学校
 安八町立結小学校
 安八町立名森小学校
 安八町立牧小学校
 安八町立登龍中学校
 安八町立東安中学校
 安八町立ほほえみ教室
 義務教育学校両荘みらい学園（小中）
 岡山県立矢掛高校
 神石高原町立油木小学校
 神石高原町立三和小学校
 広島市立広島特別支援学校

三次市立十日市中学校
 三次市立青河小学校
 三次市立三良坂中学校
 三次市立みらさか小学校
 対馬市立西部中学校
 対馬市立東部中学校
 壱岐市立石田中学校
 壱岐市筒城小学校
 三島村立三島竹島学園（小中）
 豊島岡女子学園高等学校
 豊島岡女子学園中学校
 早稲田佐賀高校
 早稲田佐賀中学校
 芝浦工業大学柏中学校
 オイスカ浜松国際高等学校
 フリースクールSeedLingPrism（小中高）
 YOLO（小中高）
 寺子屋方丈舎（小中高）
 名古屋市立扇台中学校
 桜花学園高校



N 50校 1万人を世界と繋いだPJ

代表事例 — “つくる→届ける→学びが還る”往還型グローバル探究の実証

ケース①：AOGA SOAP（広島・三次市 青河小）

児童制作の石けんをルワンダの手洗い授業で活用。12月以降は「児童解説ビデオ＋新作AOGA」で第2ラウンドへ。

学びが実社会で機能し、次の改良に繋がる循環を確認。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000166170.html>



ケース②：長崎・対馬 “平和カルタ”の海外実装

対馬西部中が制作した平和カルタを英日併記で再設計し、シリアの大学・学校で平和授業として活用。若者同士の越境対話が生まれた。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000166170.html>



ケース③：長野・木島平 “お米×暮らし×思い”

5年生の米づくり学習を起点に、海外教育支援へ展開する設計を共有。地域資源が国際的な力になるプロセスを提示。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000036.000166170.html>



ケース④：岐阜・東安中 “合唱×英語字幕”

曲の背景や想いを英語で可視化し、海外パートナー校へ“メッセージ作品”として発信。議論→実践→検証で学びの社会実装を見える化。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000037.000166170.html>



ケース⑤：長崎・壱岐 “なかよしふりかけ”×国際支援（自治体連携）

壱岐市がNPOとエンゲージメントパートナー協定を締結。規格外食材を活用した「なかよしふりかけ」を南スーダン・東ティモールへ届け、児童デザインのラベルと共に“離島と世界をつなぐ”実装を推進。図書室開設（東ティモール）や国際発信も併走。

https://www.city.iki.nagasaki.jp/soshiki/eng/pressrelease_sdgs/13798.html



KPIと成果の可視化

【活動量KPI】

- ・制作教材数 11213 制作教材種類 193種類
- ・海外実装回数 512回、10カ国
- ・ニュースリリース発信件数 18本（PR TIMES本数）

【学習KPI】

対象：全国50校／関係人口1万人

指標：①自己効力感 ②人権感度 ③学習意欲（5件法リッカート・前後比較）

KPIサマリー（平均値・前後差）

自己効力感：前 3.12 → 後 3.66（ $\Delta +0.54$ ）

人権感度：前 3.02 → 後 3.47（ $\Delta +0.45$ ）

学習意欲：前 3.06 → 後 3.58（ $\Delta +0.52$ ）

※効果量（Cohen's d）：概ね 0.5～0.6（中程度）

KPIサブ指標（ ≥ 4 〈同意以上〉）の割合・ポイント差）

自己効力感：+19.6pts

人権感度：+16.8pts

学習意欲：+18.1pts

【拡張KPI】

- ・企業・自治体連携数 企業12／自治体8
- ・地域産品×教材“学びの土産”化の件数 8 SKU

国際発表

- ・国際連合ACUNS
- ・英国Windsor ICC

50校

- ・小中高校
- ・フリースクール
- ・特別支援学校
- ・教育委員会

活動国数

10

カ国／世界



国連での中村代表スピーチ



学校連携活動の様子



コンゴ緊急支援プロジェクト「SAVE GOMA」

なかよし学園プロジェクト

世界とつながる学びプロジェクト

児童生徒が“地域の発信者”になり、
つくる→海外実装→里帰りで学びが循環する
往還型グローバル探究を全国展開中。

特定非営利活動法人 なかよし学園プロジェクト 事務局

Tel : 047-704-9844

E-mail : nakayoshigakuen.office@gmail.com

Web : www.nakayoshigakuen.net/npo/



「教育を通じて世界の平和をつくる」

なかよし学園は、これからも歩みを止めません。